



あすなろ

No. 2

↓学校ホームページ



“ありがとう”のお返し

校長 鈴木 華奈子

「ピンポン」「私、近所に住んでいる者ですが・・・」

朝、地域の方が学校にお越しになりました。

「昨日、横断歩道で一人の1年生の東っ子とすれ違いました。『こんにちは!』って、私を見て挨拶をしてくれたんです。小さな1年生が、誰に促されるわけでもなく、一人で。」

とても元気なあいさつをしてくれるものだから、びっくりして、感心しましたし、とにかく、うれしくてね。

一晩経っても、まだ、とってもいい気持ちなんですよ。

このうれしい気持ちにさせてくれた素敵な子どもさんのことを伝えた
くて来ました。」とてもありがたいといううれしいお知らせ。子どもたちも喜
んでいました。



グループホーム仲町の方が、「これを子どもたちに。子どもたちからいつもお手紙いただくので、そのお礼です。」とお届けくださいました。

小さく丸めた画用紙を敷き詰めて創られた馬の絵。一つ一つ手作りで長い時間かけて作成してくださったそうです。

「子どもたちのお手紙、みんな、ほんとに喜んで。繰り返し眺めて読んでいます。感謝の気持ちをお返ししたくて、みんなで作ったんです。」全校朝会で子どもたちに伝えました。子どもたちは、一目見て「わぁ！なにこれ！すごい！」感動の声をあげていました。



東っ子は、地域の皆さんとのつながりの中、「ありがとう」の温かいお気持ちを様々なかたちで、日々、いただいています。「いただいたたくさんの『ありがとう』を、運動会でまた地域の皆さんお返ししたい！」との思いを全校で確認しました。一人一人が精いっぱい力で挑み、仲間とともに伸びあおうとする姿をお見せすることで、地域の皆さんへ感謝の気持ちをお返ししたいと。

そして、今、子どもたちは、運動会に向けて一生懸命準備をしています。

皆様へ「ありがとう」をお返しできるようながんばる子どもたちを、当日も温かくご覧ください。



※ ※

【熱中症の防止対策についてお願い】

水筒の持参、登下校での帽子の着用等についてご協力をいただき感謝申し上げます。

学校では、エアコンの適切な運用、及び、熱中症指数計での屋外・屋内の状況把握とガイドラインに沿った活動調整の取組を、児童の安全安心を確保するために行っております。

ネッククーラー等首回りの装具の取り扱いについてご留意いただきたくお知らせします。

首周りの事故を防止する観点から、校内ではネッククーラー等の着用は控え、カバンに片付けておくよう指導しております。また、登下校中については、手に持って振り回したり、人のものに触れたりすることのないよう子どもたちに伝えてあります。首周り等に巻き付けるもの、手で持ち歩くものは、その取扱いを誤ると大きな事故を招く危険があります。ご家庭でも事故防止の観点からお子さんにお話しいただくとともに、改めて使用等についてもご検討くださいますようお願い申し上げます。

学力の向上について

学力向上部主任

表現力の育成

「書く」活動と「話す」活動に特に力を入れ、子どもたちの豊かな表現力を育むために「OUTPUT 重視の学習」を進めます。「書く」活動では、学習したことを自分の言葉で表現する力を養うことを重視します。「学びのゆめ@」という、学習内容を振り返るための視点を取り入れたり、新しく学んだ言葉を使って自分の考えを文章に表したりするなど、「思考を深めるノート作り」を通して、子どもたちが学んだことをしっかりと自分の力にする学習を進めます。「話す」活動では、自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達の話をしっかり聞いたりする双方向で会話する力を育みます。授業での話し合いの様子を紹介する掲示物や、よい話し方・聞き方の例（東っ子の学び方等）を示したりすることで、子どもたちがお互いを尊重しながら話し合い、学びを深められるよう、全体のレベルアップを図ります。

基礎基本の定着

ドリル学習などの「反復学習」や、「書き写す」といった学びの基礎や自信につながる「INPUT 重視の学習」を、昨年度に引き続き、今年度も大切に進めていきます。また、朝の学習時間（「燕長善タイム」）には、市内小中学校で取り組まれている「コグトレ（認知機能トレーニング）」に、本校でも引き続き取り組みます。クイズ形式で楽しく取り組めるコグトレは、「見る力」「聞く力」「想像する力」といった認知機能を高める効果があります。コグトレを通して、子どもたちが学習内容をより深く理解できるようサポートしていきます。

豊かな心の育成について

豊かな心育成部主任

自己肯定感を高める

今年度の燕東小の児童は197人。子どもたち一人一人に、その子にしかない素晴らしいよさがあります。子どもたちが、多様な価値観に触れながら、自分なりのよさを見出していくことは、自分らしく生きていくための基盤となります。しかし、日々の様子を見てみると、「自分にはいいところなんて……」と控えめに捉えてしまう子もいます。そこで今年度も行事や生活を通して、「自分の頑張っていること」や「自分のよいところ」を、感じたり言葉にしたりできる子を育てていきたいと考えています。日々の授業や学校生活の中で「できた」という達成感を積み重ね、「自分は大切な存在だ」と実感できるよう支援してまいります。ご家庭や地域でも、子どもたちのありのままのよさを認め、励ましていただけると幸いです。

他者を理解しお互いを認め合う

他者を理解し認め合う心は、自己肯定感の向上と表裏一体です。学級では仲間のよいところや頑張っているところを見付け、互いに伝え合う活動をさらに充実させていきます。異学年交流では、今年度も「なかよしあすなろ班」を結成し、1・6年生、2・5年生、3・4年生の「仲良しペア」が集まり、一つの班となって活動を行います。清掃活動や遊ぶうデイ、各行事などで異学年交流を活性化していきます。活動後にはペアや班の仲間のよいところを「あすなろの実」と称するカードに書いて贈り合います。贈られた言葉から自分のよさを再発見したり、仲間への感謝の気持ちを新たにしたりします。また、燕東小の自慢の一つである「心と心をつなぐあいさつ」も継続していきます。全校で、お互いを認め合う温かい仲間づくりを目指していきます。

体力の向上について

体力向上部主任

運動意欲の向上

燕東小では、体育の授業を通して、「①自分のめあてを達成するために、進んで運動に取り組む子ども」「②自分の動きをよりよくするために自ら考え、工夫して運動に取り組む子ども」を目指しています。今年度も、「タブレットやワークシートを活用して、自分の動きを振り返る」「仲間と互いの動きを見合い、気付いたことを伝え合う」「練習方法の工夫やよりよい動きについて話し合う」活動を通して、子どもたちがめあての達成に向けて「考えて運動する」体育授業を行い、思考力や意欲の高まりから、運動技能の向上につなげていきます。

生活習慣指導（基本的生活習慣・メディアコントロール）

燕東小では、子どもたちの心と体の健やかな成長のために、睡眠とメディアコントロールを中心とした生活習慣指導に取り組んでいます。早寝・早起きの他に、お家の方とメディアコントロールについて話し合い、テレビやゲーム、インターネットなどのメディア使用について「お家のルール」作りを行い、げんきアップ週間に取り入れています。今年度は、「少しでもよりよい生活にしよう」と粘り強く取り組めるように働きかけていきます。また、前回の「げんきアップカード」を振り返りながら、「起床・就寝の目標時刻」や「お家のルール」を見直し、少しでもよりよい睡眠、生活習慣が身に付くようにしていきます。ぜひ、ご家庭でメディアコントロールや睡眠の大切さについて話し合ってください。今後とも、子どもたちへの温かい励ましとご協力をお願いします。